

行政・NPO 協働事業助成（NPO 提案型） 実績報告

団体名	国際教育文化交流協会	代表者名	田中 カズ子
事業名	留学生が担う地域観光ガイド国際コミュニティ事業		
協働の相手方	兵庫県観光・国際局観光交流課 兵庫県観光・国際局国際経済課 (公財) 兵庫県国際交流協会		

事業実施実績

年 月 日	活 動 内 容
平成23年 4月～5月	○活動目標企画の設定 事業の実施にあたって、国土交通省観光庁・(社)日本旅行業協会の指導、協力のもと、実行委員会(理事4名、評議員3名)において事業の骨子の概要等、時系列に実行するため協議に入る。 ○企業パートナー(日本旅行グループ(株)ジャッツ関西)と実務事業会議 ○第1期生の更新登録 ○協働会議: 国際教育文化交流協会及び協働の相手方(3団体等)で構成
6月	企業パートナーとの実働会議: 第2期実施計画の推進について。 協働会議
7月	企業パートナー視察訪問: 日本旅行・神戸ポートピアホテル等。 協働会議 上記会議をふまえて、「兵庫県の錦秋観光ガイド旅行」の企画に組込む。
8月	留学生研修事業公募: 第1期更新登録者及び第2期受講生。 協働会議
9月	研修講座: 初級及び中級受講生オリエンテーション(9/17) ※9/17オリエンテーションでの受講生との協議の上、初級レベルの受講生の知識が非常に高かったこと及び希望もあったことから中級レベルの講座に一本化した。 内容: 開催主旨/制度概要のポイント等。全般的な傾向と対策。 日程: 9月～翌1月まで月2回(土)17:00～19:00 協働会議
10月	研修講座(10/1・10/15⇒17:00～19:00) 内容: 新通訳案内士制度の概要/業務内容。 実地研修: 10/29 模擬観光客(中国残留孤児)と城崎温泉へ観光ガイド研修
11月	研修講座(11/5・11/9⇒17:00～19:00) 内容: 11/5 観光業業務の体験について 11/19 地理Ⅰ: 国立公園・国定公園を中心に 協働会議
12月	研修講座(12/3・12/17 ⇒17:00～19:00) 内容: 12/3 地理Ⅱ: 日本の世界遺産(文化遺産/自然遺産)等 12/17 歴史: 平安・鎌倉・江戸等 日本文化史
平成24年 1月	研修講座(1/14・1/28⇒17:00～19:00) 内容: 1/14 歴史Ⅱ: 近現代史を中心に外交史、政治史 等 1/28 一般常識全般: 経済統計・時事用語・地域産業 等
2月	研修講座(2/18⇒17:00～19:00) 内容: ・新しい通訳案内士制度のあり方に関する動向・調査・効果 ・受験対策: 受講生各自のねらい・合格に向けて

効果と成果

現在、訪日外国人旅行者の7割以上がアジア圏からの旅行者であるが、中国語及び韓国語の通訳案内士は通訳案内士全体の2割にも満たず、訪日旅行者のガイド需要とガイド供給量に大きなギャップが生じているのが現状である。そこで、23年度については、1年次の基本的な知識を踏まえ、2年次として実践的な研修プログラムを実施し、講師から難関資格である「観光ガイド通訳士」の合格者が出るかもしれないといわれるなど、受講生の人財育成も進んだ。当会としては日本の文化、歴史を学び習得して資格を得る人財が増えることは、日本の良さをアピールできる機会となるとともに、留学生たちにとっては日本が好きで留学してきた大きな意義の実現となることから、どちらにおいても国際貢献に寄与できると考えている。

なお、助成対象となっている本講座は2月で終了するものであり、4月以降についても引き続き本講座は行う予定であるが、受講生からの受講料等での運営を考えている。

収支決算書

(収入)

項目	金額 (円)
行政・NPO協働事業助成金 (NPO提案型)	1,000,000
研修受講料	189,000
自己負担金	30,560
合計	1,219,560

(支出)

区分	項目	金額 (円)	左のうち助成対象金額 (円)
直接 経費	研修運営費	658,400	652,400
	現地研修費	153,550	153,550
	コーディネート料	220,000	220,000
	小計	1,031,950	1,025,950
間接 管理費	通信運搬費	80,520	80,520
	消耗品費	32,090	32,090
	印刷製本費	75,000	75,000
	小計	187,610	187,610
合計		1,219,560	1,213,560